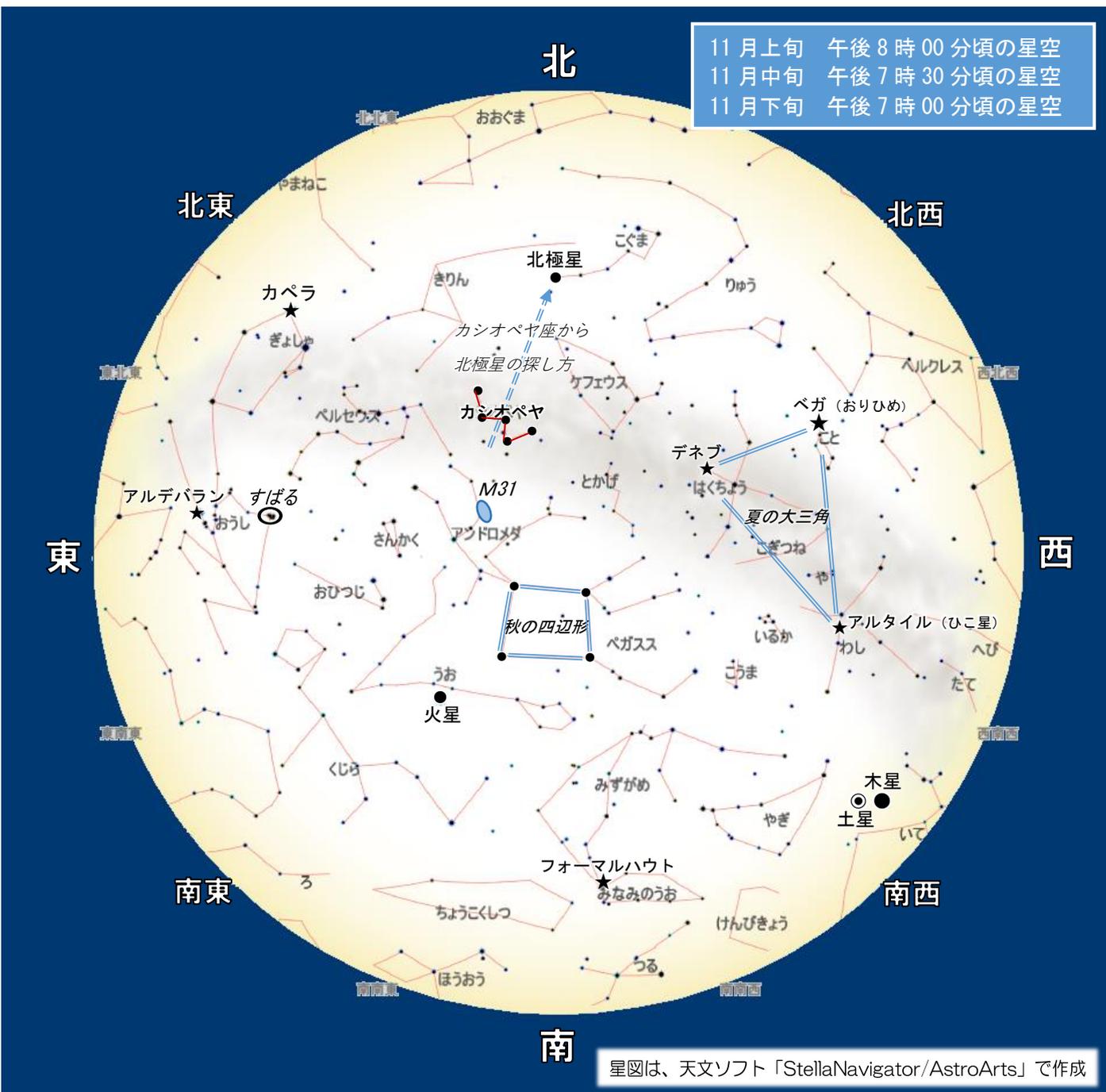


# 2020年 11月の星空案内



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

## 【11月の星空】

秋の星座の目印は、ペガスス座の『秋の四辺形』です。西側の辺を南に延ばすと、秋の唯一の1等星みなみのうお座の「フォーマルハウト」が見つかります。また東側の辺を北に延ばすと、カシオペア座や北極星が見つかります。日の入りの時刻が早いため、まだ空高くに『夏の三大角』が目立ちます。

空が暗いところでは「アンドロメダ銀河 (M31)」を見る好機です。7~10倍程度の双眼鏡を使うと、月の数倍の広さにボーッと広がる雲のように見えます。

## 【太陽系の惑星】

夕方の南西の空に輝いている「木星」と「土星」が徐々に近づいて見えます。この2惑星は約20年周期で会合しますが、今年12月22日には地球から見て00°06'まで接近します。ここまで近づくのは大変珍しい現象ですので、この後ぜひご注目ください。

火星は10月6日に最接近しましたが、まだまだ南の空でオレンジ色に目立って見えます。